

第 3 次農林水産業元気再生戦略の見直しについて

No	基本戦略	プロジェクト名	見直し内容	見直し理由																						
1	基本戦略 1 ②経営体育成	農業情報発信力強化プロジェクト	<p>(1) 目標指標（県農業情報サイト「あぐりん」への訪問者数）の上方修正</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">現状値</th> <th colspan="4">目標値</th> </tr> <tr> <th>H 2 9</th> <th>H 3 0</th> <th>H 3 1</th> <th>H 3 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見直し前</td> <td>645,000 件 (H27)</td> <td>650,000 件</td> <td>660,000 件</td> <td>680,000 件</td> <td>700,000 件</td> </tr> <tr> <td>見直し後</td> <td>645,000 件 (H27)</td> <td><u>1,254,000</u> 件 (実績)</td> <td><u>1,300,000</u> 件</td> <td><u>1,350,000</u> 件</td> <td><u>1,400,000</u> 件</td> </tr> </tbody> </table>		現状値	目標値				H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	見直し前	645,000 件 (H27)	650,000 件	660,000 件	680,000 件	700,000 件	見直し後	645,000 件 (H27)	<u>1,254,000</u> 件 (実績)	<u>1,300,000</u> 件	<u>1,350,000</u> 件	<u>1,400,000</u> 件	(1) 平成 29 年度実績が目標指標を上回ったため。
	現状値	目標値																								
		H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2																					
見直し前	645,000 件 (H27)	650,000 件	660,000 件	680,000 件	700,000 件																					
見直し後	645,000 件 (H27)	<u>1,254,000</u> 件 (実績)	<u>1,300,000</u> 件	<u>1,350,000</u> 件	<u>1,400,000</u> 件																					
2	基本戦略 1 ②経営体育成	農業経営セーフティネット強化プロジェクト	<p>(1) 目標指標（収入保険制度の加入の前提となる青色申告承認者数）の上方修正</p> <p>(2) 平成 27 年現状値の修正</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">現状値</th> <th colspan="4">目標値</th> </tr> <tr> <th>H 2 9</th> <th>H 3 0</th> <th>H 3 1</th> <th>H 3 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見直し前</td> <td>9,720 人 (H27)</td> <td>10,050 人</td> <td>10,300 人</td> <td>10,550 人</td> <td>10,800 人</td> </tr> <tr> <td>見直し後</td> <td><u>9,643</u> 人 (H27)</td> <td><u>10,475</u> 人 (実績)</td> <td><u>11,300</u> 人</td> <td><u>12,150</u> 人</td> <td><u>13,000</u> 人</td> </tr> </tbody> </table>		現状値	目標値				H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2	見直し前	9,720 人 (H27)	10,050 人	10,300 人	10,550 人	10,800 人	見直し後	<u>9,643</u> 人 (H27)	<u>10,475</u> 人 (実績)	<u>11,300</u> 人	<u>12,150</u> 人	<u>13,000</u> 人	<p>(2) 青色申告研修会開催等により収入保険加入ニーズが増加し、平成 29 年の実績値が 32 年の目標値に迫ったため。</p> <p>(2) 値の精査による修正。</p>
	現状値	目標値																								
		H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2																					
見直し前	9,720 人 (H27)	10,050 人	10,300 人	10,550 人	10,800 人																					
見直し後	<u>9,643</u> 人 (H27)	<u>10,475</u> 人 (実績)	<u>11,300</u> 人	<u>12,150</u> 人	<u>13,000</u> 人																					
3	基本戦略 3 ④園芸団地の基盤強化	スマート農業の実現に向けた導入推進プロジェクト	<p>(1) プロジェクトの位置付けの変更 （見直し前）基本戦略 3－④園芸団地の基盤強化 （見直し後）基本戦略 1－②経営体育成</p> <p>(2) プロジェクト名称、目標指標及び取組内容の見直し （見直し前）スマート農業の実現に向けた導入推進プロジェクト （見直し後）スマート農業普及拡大プロジェクト</p> <p>※目標指標及び取組内容の見直しは P 6（プロジェクトシート）のとおり。</p>	<p>(1) 特定の品目ではなく、経営全体に関わる取組みであるため。</p> <p>(2) 普及拡大を図っていくことを明確にするため。</p>																						

No	基本戦略	プロジェクト名	見直し内容	見直し理由																													
4	基本戦略4 ①6次産業化	農林漁業者自らの6次産業化プロジェクト	<p>(1) 「～現状・課題～」欄に新たな課題を追記するとともに、その課題に対応するための取組内容を追加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="5">取組機関</th> </tr> <tr> <th>本庁</th> <th colspan="4">総合支庁</th> </tr> <tr> <td></td> <th>村山</th> <th>最上</th> <th>置賜</th> <th>庄内</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①～③ (略)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④デザインを活用した農林水産業魅力アップ支援 ・デザインを活用し、農場や集落全体をブランディングすることにより、認知度向上や販売増を図る取組みを支援</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	取組機関					本庁	総合支庁					村山	最上	置賜	庄内		①～③ (略)						④デザインを活用した農林水産業魅力アップ支援 ・デザインを活用し、農場や集落全体をブランディングすることにより、認知度向上や販売増を図る取組みを支援	○	○	○	○	○	<p>(1) 農林水産業の魅力向上させブランド力の強化を図るためには、商工分野で広く浸透しているデザインを活用したブランディングの取組みが効果的であり、農林水産分野においても普及を図っていく必要があるため。</p>
取組内容	取組機関																																
	本庁	総合支庁																															
	村山	最上	置賜	庄内																													
①～③ (略)																																	
④デザインを活用した農林水産業魅力アップ支援 ・デザインを活用し、農場や集落全体をブランディングすることにより、認知度向上や販売増を図る取組みを支援	○	○	○	○	○																												

プロジェクトの位置付け等の変更について

変更前
基本戦略1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現
1 人材の育成・確保 2 経営体育成 3 地域活性化
基本戦略2 水田農業の収益性の向上
1 土地利用型作物 2 生産基盤 [関連]スマート農業の実現に向けた導入推進プロジェクト
基本戦略3 「園芸大国やまがた」の実現
1 果樹 2 野菜 3 花き 4 園芸産地の基盤強化 ②スマート農業の実現に向けた導入促進プロジェクト
基本戦略4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進
1 6次産業化 2 流通販売・食文化発信 3 環境農業
基本戦略5 畜産業の競争力強化
1 畜産生産 [関連]スマート農業の実現に向けた導入推進プロジェクト 2 耕畜連携・自給飼料
基本戦略6 「やまがた森林ノミクス」の推進
1 人材育成 2 木材生産・加工 3 木材利用 4 特用林産
基本戦略7 水産業のさらなる振興
1 海面漁業 2 内水面漁業

変更後
基本戦略1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現
1 人材の育成・確保 2 経営体育成 ⑦スマート農業普及拡大プロジェクト 3 地域活性化
基本戦略2 水田農業の収益性の向上
1 土地利用型作物 2 生産基盤 [関連]スマート農業普及拡大プロジェクト
基本戦略3 「園芸大国やまがた」の実現
1 果樹 2 野菜 3 花き 4 園芸産地の基盤強化 [関連]スマート農業普及拡大プロジェクト
基本戦略4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進
1 6次産業化 2 流通販売・食文化発信 3 環境農業
基本戦略5 畜産業の競争力強化
1 畜産生産 [関連]スマート農業普及拡大プロジェクト 2 耕畜連携・自給飼料
基本戦略6 「やまがた森林ノミクス」の推進
1 人材育成 2 木材生産・加工 3 木材利用 4 特用林産
基本戦略7 水産業のさらなる振興
1 海面漁業 2 内水面漁業

基本戦略1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現 ②経営体育成

プロジェクト名		農業情報発信力強化プロジェクト																							
【プロジェクトの方向性】 ○農業者の経営改善に役立つ先端技術や支援施策に関する情報の充実と発信力の強化に取り組む。		取組内容			取組機関																				
~現状・課題~ ○平成14年に開設した県農業情報サイト「やまがたアグリネット」(愛称:あぐりん)では、県内の農業者に生産技術や流通販売などの情報をリアルタイムに提供しており、全国トップレベルの会員数を確保しているが、平成20年代に入りインターネット上に様々な情報が発信されるようになってきたことを背景に、サイト訪問者数は平成22年度をピークに減少傾向にある。 ○農家数や農業就業人口が減少している中で、本県の農業を維持していくためには、農業情報の収集・発信能力を持ち、競争力の高い経営体を育成していく必要がある。					本庁	村山	最上	置賜	庄内																
		①あぐりんの利用促進 ・あぐりんフェイスブックの情報拡散機能を活用した情報発信の強化 ・スマートフォンによる閲覧に適した表示方法への対応検討			○	○	○	○	○																
		②あぐりんを活用した情報発信の充実強化 ・農業者向け「補助事業逆引き事典」の作成・掲載 ・ICT等の先端技術情報の掲載			○	○	○	○	○																
プロジェクト目標																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">目標指標</th> <th rowspan="2">現状値</th> <th colspan="4">目標値</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県農業情報サイト「あぐりん」への訪問者数</td> <td>645,000件 (H27)</td> <td>1,254,000件 (実績)</td> <td>1,300,000件 660,000</td> <td>1,350,000件 680,000</td> <td>1,400,000件 700,000</td> </tr> </tbody> </table>		目標指標	現状値	目標値				H29	H30	H31	H32	県農業情報サイト「あぐりん」への訪問者数	645,000件 (H27)	1,254,000件 (実績)	1,300,000件 660,000	1,350,000件 680,000	1,400,000件 700,000								
目標指標	現状値			目標値																					
		H29	H30	H31	H32																				
県農業情報サイト「あぐりん」への訪問者数	645,000件 (H27)	1,254,000件 (実績)	1,300,000件 660,000	1,350,000件 680,000	1,400,000件 700,000																				

※平成30年4月27日見直し

※「取組機関」中の「本庁」・・・農林水産部(研究機関、農林大学校等の農林水産部出先機関を含む)

基本戦略1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現 ②経営体育成

プロジェクト名		農業経営セーフティネット強化プロジェクト																				
【プロジェクトの方向性】 ○気象災害や価格変動に対応できる農業経営の実現に向け、収入保険制度や農業共済等の各種セーフティネットの活用を促進する。 ~現状・課題~ ○近年、気象災害(豪雨、暴風、大雪等)が頻発し、甚大な農作物被害の発生に加え、米価の下落など、農作物の価格変動による農業経営への不安が叫ばれている。 ○農業経営の安定を図るため、農業共済制度や新たに創設される収入保険制度などのセーフティネットへの加入を促進する必要がある。 ○また、高所からの転落や農業機械の誤操作など、農作業中の事故が発生していることから、農作業方法や農業機械の操作方法など、正しい知識の普及が必要である。	取組内容					取組機関																
						本庁					総合支庁											
	①収入保険制度への加入促進 ・収入保険制度の加入の前提となる青色申告者を増やすための啓発及び研修会の開催 ・収入保険制度の導入に向けた情報収集・提供										村山	最上	置賜	庄内								
						○	○	○	○	○												
	②果樹のセーフティネットへの加入促進 ・果樹共済の既加入者の加入維持と未加入者に対する加入促進を図るため、実施主体と連携した個別訪問や、広報紙等による広報・啓発					村山	最上	置賜	庄内													
○						○	○	○	○													
③水稲のセーフティネット加入率の維持 ・水稲共済が当然加入方式から任意加入方式へ見直されるに伴い、現行のセーフティネットへの加入率を維持するため、水稲共済及びナラシ対策、収入保険のいずれかのセーフティネットへの加入を促進する広報・啓発					村山	最上	置賜	庄内														
					○	○	○	○	○													
④農作業中の事故防止に向けた啓発 ・農作業事故防止に向けた農作業安全キャラバンや講習会などによる啓発					村山	最上	置賜	庄内														
					○	○	○	○	○													
プロジェクト目標		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">目標指標</th> <th rowspan="2">現状値</th> <th colspan="4">目標値</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入保険制度の加入の前提となる青色申告承認者数</td> <td>9,643 9,720 人 (H27)</td> <td>10,475 人 (実績)</td> <td>11,300 10,300 人</td> <td>12,150 10,550 人</td> <td>13,000 10,800 人</td> </tr> </tbody> </table>					目標指標	現状値	目標値				H29	H30	H31	H32	収入保険制度の加入の前提となる青色申告承認者数	9,643 9,720 人 (H27)	10,475 人 (実績)	11,300 10,300 人	12,150 10,550 人	13,000 10,800 人
目標指標	現状値	目標値																				
		H29	H30	H31	H32																	
収入保険制度の加入の前提となる青色申告承認者数	9,643 9,720 人 (H27)	10,475 人 (実績)	11,300 10,300 人	12,150 10,550 人	13,000 10,800 人																	

※平成30年4月27日見直し

※「取組機関」中の「本庁」・・・農林水産部(研究機関、農林大学校等の農林水産部出先機関を含む)

プロジェクト名		スマート農業の実現普及拡大に向けた導入推進プロジェクト					
【プロジェクトの方向性】 ○「スマート農業」の導入に向け、省力化・軽労化などの視点から技術開発を図るとともに、民間企業、JA等と一体となり、県内各地の現地圃場において新技術の実証により普及拡大を推進する。 ○ICT等の先端技術を活用した農業生産性の向上などに繋がる「スマート農業」を実現するため、新たな技術開発を行い、新技術の実証や導入を促進する。 ~現状・課題~ ○他の産業分野では、ロボット技術やICT等の活用が進展し、技術革新が競争力の強化に繋がっており、農業分野でもそういった技術の活用が、 <u>人手不足を始めとする様々な課題の解決や農業の成長産業化に向けた強力な推進力となる</u> ことが期待される。 ○これまで本県においては、スマート農業の実現に向けた新たな技術の開発に注力してきたところであるが、 <u>技術開発には相当の時間とコストが必要となる。</u> ○農業分野においては、 <u>実用化・社会実装のために、インフラ整備を必要とする場合が少なくないため、コストがかかることに加え、技術・制度・気候・地形等の課題があるため、現場での実証と導入効果の分析が必要不可欠である。</u> ○これらの状況を踏まえ、 <u>技術開発を継続しつつ、実用段階にある技術の本県への導入に向けた実証を先行させ、スマート農業を進める素地を作ると共に、その成果を技術開発にもフィードバックしていく必要がある。</u>	取組内容						
			本庁	総合支庁			
			村山	最上	置賜	庄内	
		①少ない労力のできる農業の実現 ・給排水遠隔制御装置による水田水管理の省力化を実証 ・IT管理ツールの導入によるすいかの生産工程改善システムを実証 ・営農情報管理システム導入による大規模稲作経営支援技術の実証(県内2か所)や、おとうの軽労的な樹形等の開発などの研究課題を実施 ①生産性向上を図るスマート農業の導入促進 ・次世代型低コスト大型ハウスにおけるトマト長期多収栽培体系の確立 ・スマート農業を実現するリモートセンシング技術を活用した水稻広域生育診断システムの構築	○	○	○	○	○
		②生産性が高い農業の実現 ・小型気象観測装置によるりんご・すいかの病害感染予測システムを実証 ・次世代型低コスト大型ハウスの実証やリモートセンシング技術を活用した水稻広域診断技術、ICT養液土耕システムの実証などの研究課題を実施 ②誰もが取り組みやすいスマート農業の導入促進 ・胃内センサー等の情報を活用したリアルタイムモニタリングによる高泌乳牛の新たな栄養管理指標の策定 ・さくらんぼ大玉(3L~4L)生産技術を誰にでも取り組めるようマニュアルによる見える化	○	○	○	○	○
		③意欲ある若手への熟練技術の継承 ・ハウス栽培管理のモニタリングによる技術継承システムの実証 ・おとう大玉生産技術の開発や高泌乳牛の栄養管理技術の確立の継続 2課題を実施。 ③超省力・軽労化を図るスマート農業の導入促進 ・大規模稲作経営における営農情報管理システム(ほ場毎の栽培管理と生育・収量・品質)の効果の実証 ・新最上丸による迅速な漁場情報の提供	○	○	○	○	○
プロジェクト目標							
目標指標	現状値	目標値					
		H29	H30	H31	H32		
県内における「スマート農業」の取組件数(累計) スマート農業の実現に向けた新たな技術開発数(累計)	23件 (H29) =	=	30件 2件	40件 4件	50件 6件		
(注)スマート農業:ロボット技術やICTを活用するもので、少ない労力のできる農業や生産性が高い農業、意欲ある若手への熟練技術の継承を実現する農業技術							

基本戦略4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進 ①6次産業化

プロジェクト名		農林漁業者自らの6次産業化プロジェクト								
【プロジェクトの方向性】 ○農林漁業者による新たなスモールビジネスの芽出しから商品・販売力向上までの活動や、小規模な加工施設や地域の拠点となる6次産業化施設の整備など、発展段階に応じたきめ細かな支援を行い、6次産業化の定着と取組拡大を推進する。	取組内容					取組機関				
						本庁	総合支庁			
村山	最上	置賜	庄内							
<p>～現状・課題～</p> <p>○米政策の改革等が進む中で、農家所得の向上のためには、農産物の付加価値を高める農林漁業者による6次産業化の取組みを推進することが重要である。</p> <p>○小規模な農林漁業者が6次産業化に取り組むにあたっては、初期投資が大きな負担となることから、商品開発から加工・販売に至るまで、ソフト・ハード両面での支援が必要である。</p> <p>○農産加工品の販売額を伸ばすためには、高度な加工技術に裏打ちされたマーケットインによる商品づくりを支援する必要がある。</p> <p>○山形の農林水産業・農山漁村の魅力を上向きさせブランド力の強化を図るためには、<u>デザインを活用したブランディングの取組みの農林水産分野での普及を支援し、デザイン活用について意識啓発を図る必要がある。</u></p>	<p>①農林漁業者の6次産業化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及組織や6次産業化支援機関等による事業計画から加工、販売までの各段階に応じた助言・指導(6次産業化支援マニュアルの活用) 魅力ある商品開発や多様な流通チャネルへの販路開拓を支援 農林漁業者自らによる6次産業化の取組みに必要な拠点となる施設整備や機械導入を支援 地域の特産物等を活用した加工品の商品開発や、生産拡大に必要な小規模な施設整備や機器導入を支援 					○	○	○	○	○
	<p>②地域資源を活用したスモールビジネスの創出支援[関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物等の地域資源を活用し所得向上につなげるスモールビジネスの創出を支援 スモールビジネスを継続発展させるための企業組合などの新たな経営モデルの創出を支援 					○	○	○	○	○
	<p>③商品力の高い農産加工品づくり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した、収益性の高い農産加工経営体育成に向け、技術力向上や顧客ニーズに合わせた商品づくりを支援 						○	○	○	○
	<p>④デザインを活用した農林水産業魅力アップ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>デザインを活用し、農場や集落全体をブランディングすることにより、認知度向上や販売増を図る取組みを支援</u> 					○	○	○	○	○
プロジェクト目標										
目標指標	現状値	目標値								
		H29	H30	H31	H32					
産地直売所販売額	93億円(H27)	107億円	114億円	122億円	130億円					
農産加工所販売額	30.5億円(H27)	32億円	33億円	34億円	35億円					

※平成30年4月27日見直し

※「取組機関」中の「本庁」・・・農林水産部(研究機関、農林大学校等の農林水産部出先機関を含む)